

全県青年会ニュース 第48号

宮城県建設業青年会

令和6年度定時総会

7月16日(火)に令和6年度定時総会をパレスへいあんにて開催いたしました。役員をはじめ、委任状出席を含めた約90名の会員が出席し、令和5年度事業報告並びに収支決算書、令和6年度事業計画(案)、収支予算書(案)、役員改選に伴う新役員選任が承認され、佐藤敦会長の顧問就任及び柴田副会長の会長就任が決定しました。また自衛隊宮城地方協力本部より、澤村1等陸佐をお招きし、「自衛隊における災害派遣活動」についてご講演いただきました。会議終了後は同会場にて懇親会を実施し、来賓に(一社)宮城県建設業協会の千葉会長、歴代県青年会長の皆様をはじめ、宮城県土木部より鈴木副部長、高野事業管理課長にご出席賜りました。



全国建設青年の日制定事業

9月24日(火)13時30分より宮城県利府町宮城スタジアム付近の県道利府停車場総合公園線付近にて、清掃活動を実施いたしました。スマイルサポーターの認定をされてから10回目の活動となり、当日は好天の中総勢91名の会員が参加しました。支部毎に3班に分かれてゴミを収集し、可燃ゴミ8袋、不燃ゴミ5袋を回収することができました。また活動終了後昨年度に引き続き懇親会を仙台市内にて開催し、会員同士の親睦を深めました。

ゴルフコンペ

10月17日(木)に仙台カントリー倶楽部名取コースにおいて開催、プレー中は各支部の皆様が各々親睦を図り楽しみました。

○ゴルフコンペ(39名参加)
優勝 塩釜建設業青年会

須田英樹氏

中学生の職場体験学習

10月から12月にかけて、仙台青年会、塩釜青年会のご協力により、仙台市内、多賀城市内の中学2年生を対象とした現場実習を実施しました。生徒たちは3日間という短い期間ながらも、仕事のやりがいや厳しさを体験し、大きな刺激を受けている様子でした。今後このような若年層へ向けた入職促進事業を積極的に展開して参ります。



みやぎ元気まつり2024及びみやぎ建設ふれあいまつり

8月3日(土)・4日(日)に夢メッセみやぎで開催された「みやぎ元気まつり2024」において、ブース出展協力を行いました。当日は2班に分かれ、ラジコン重機の操作体験とペーパーウエイトづくり体験のサポートを担当しました。

また、11月3日(日)に宮城県庁前で開催された「みやぎ建設ふれあいまつり」では、測量体験や高所作業車の試乗体験を実施しました。当日は好天に恵まれ、約5,000人の方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。いずれのイベントも休日にもかかわらず、多くの皆様にご協力いただき無事に実施することができました。心より御礼申し上げます。

新春交流会

令和7年2月7日(金)に、仙台市内にて昨年に引き続き新春交流会を開催し、ゲストを含む102名の皆様にご参加いただきました。
子ども110番パトロール事業連絡会議
令和7年3月18日(火)、子ども110番パトロール事業連絡会議を開催いたしました。当日は宮城県警察本部生活安全部の内海課長をはじめとした各関係行政機関の担当者がご出席され、当会役員と活発な意見が交わされました。

令和7年3月31日(第48号)

お問い合わせ・ご意見は…

宮城県建設業青年会
総務・交流委員会

〒981-0824
仙台市青葉区支倉町2-48番地
TEL 022(262)2211
FAX 022(263)7059

【総務・交流委員会】
担当副会長：佐々木 浩也
委員長：石堂 智悠
副委員長：春日部 藤 拓
副委員長：遠野 圭
副委員長：浅野 拓
事務局長：高橋 圭
委員
鎌田 桂・佐藤 真也・結城 佳之
伏谷 綜太・高橋 正樹・阿部 祥太郎
木村 和貴・山内 庄城

仙台建設業青年会

仙台建設業青年会 令和6年度の活動報告をさせていただきます。

令和6年度は、5月21日(火)に仙台市内の江陽グランドホテルにて定時総会を開催いたしました。佐藤会長の挨拶より始まり、令和5年度の事業報告並びに会計報告、令和6年度の事業計画並びに予算計画、役員改選の議題等が承認されました。任期満了による役員改選では、與那覇副会長が新会長に就任し、その後会員交流のための懇親会が開催されました。

8月には、宮城県立こども病院の夏祭りボランティア事業を実施しました。今年度も感染症対策を徹底し、打ち上げ花火の協賛やくじ引き、ヨーヨーの運営を行い、子どもたちに楽しんでもらえるような事業を展開しました。

また8月には例会を仙台市戦災復興記念館にて実施しました。(一社)宮城県建設業協会より西村専務理事をお招きし、全県青年会より柴田会長を迎えたクロストークを通じて、建設業協会及び青年会の歴史や活動の重要性について学びました。会議後は懇親会を行い、さらなる相互の親睦を深めました。

県青年会の事業参加としては、8月に「みやぎ元気まつり」、11月に「みやぎ建設ふれあいまつり」の(一社)宮城県建設業協会の事業サポートを行ったほか、9月に全建青年会の全国建設青年の日制定事業(清掃活動)、10月に全県青年会ゴルフコンペへ参加し、他支部との親睦を図るとともに、多くの皆様に建設業の魅力を知ってもらえるよう努めました。

11月には移動研修を実施しました。本年度は栃木県を研修の地とし、日光東照宮、大谷資料館、湯西川ダムを見学しました。歴史的建造物などを実際に目で見て肌で感じることで、日本の歴史や知見を広げる機会となりました。

また、11月・12月には全県青年会からの依頼により、2校の中学生職場体験の受け入れを実施し、体験を通して生徒たちに建設業の魅力や楽し

さ、やりがいについて伝えることができました。12月には、毎年恒例のクリスマス家族会を実施しました。例年以上に多くの会員とその家族の方々に参加していただき、大盛況に終わりました。本年度は、会員増加に向けて会員開発委員会を立ち上げ、積極的な活動により新たに3名が入会しました。今後もさらなる会員増加を目指すとともに、建設業全体の問題に青年会全員で取り組み、業界のさらなる発展や地域への貢献に積極的に努めてまいります。

仙南建設業青年会

令和6年5月15日に定時総会を開催しました。今年度は新たに4名の会員が加わり、計10名となり、春日部悠希会長のもと、主に支部事業への参加・協力に取り組みました。

建設業界では就業者の高齢化が進み、当支部管内でも担い手不足が年々深刻化しています。さらに、近年頻発する自然災害に迅速に対応するためにも、若手人材の確保と育成が急務となっております。その一環として、昨年に引き続き、名巨支部との共同企画として建設現場見学会を開催しました。6月には柴田農林高等学校、8月には白石工業高等学校の生徒を対象に実施し、建設業の役割や魅力を伝えました。将来の進路選択の参考にしてもらい、インフラ整備や災害復旧などを通じて地元を支える仕事に関心を持ってもらえることを期待しています。今後も建設業を身近に感じてもらい、入職のきっかけとなるよう、地域建設業の若手人材確保・育成に向けた取り組みを進めていきます。

また、今年度は会員が増え、久しぶりに活気が戻ったように感じます。新入会員の今後の活躍を期待し、交流と親睦を深めるため、10月には大阪で移動研修会を開催しました。今後も県青年会および親会と連携を図り、イベント等への協力を通じて建設業協会のサポート役として地道に活動してまいります。

名巨建設業青年会

名巨建設業青年会は令和6年5月10日に定時総会を開催し、事業計画及び予算案が全会一致で承認され、阿部会長のもと、会員7名で令和6年度の事業をスタートしました。

6月には仙南支部と合同で、若手人材育成事業として柴田農林高校の生徒を対象に現場見学会を実施しました。見学先は丸森町のトンネル工事現場です。また、生徒と会員との交流の場を設け、生徒の率直な意見を聞くことで、建設業の重要性を伝えるとともに、進路選択の幅を広げる意見交換を行いました。この取り組みは、地域の担い手を育成する貴重な機会となりました。

9月には、建設業の魅力を発信し、子供たちに興味・関心を持ってもらうこと、さらに保護者にも建設業への理解を深めてもらうことを目的に、「YUKI FOOTBALL ACADEMY」とコラボレーションし、建設CUPの開催を予定していました。しかし、荒天のため中止となりました。本来は、ラジコン重機の操作体験、高所作業車乗車体験、バックホウ乗車体験、測量機器の使用体験などを通じて、建設業の魅力を存分にPRする予定でしたが、次年度はこの事業を継続し、改めて開催できるよう計画しています。

10月には清掃活動を実施し、11月には「みやぎ建設ふれあいまつり」への参加や移動研修会を行いました。これらの活動を通じて、会員同士の親睦を深め、結束を高める機会となりました。

塩釜建設業青年会

塩釜建設業青年会では、令和6年4月24日に定時総会を開催し、令和5年度の事業報告・決算報告・監査報告、ならびに令和6年度の事業計画及び予算案を全会一致で承認しました。また、寺嶋建設工業株式会社の内海竜次氏の入会が承認され、新規会員を加えた計10名での事業活動となりました。

当青年会の主な事業活動として、7月に納涼会、8月に親睦ゴルフ、10月にみやぎスタジアム清掃活動、11月に「みやぎ建設ふれあいまつり」への参加、12月に忘年会および相続・事業承継に関する勉強会を開催しました。若手会員を主な対象とした学習

の場を設けるとともに、社会貢献活動を行い、会員同士の親睦を深める機会となりました。

今後も、若手会員を含めた9名の会員が積極的に事業活動に参加し、会員同士の連携を強化しながら、地域の守り手としての役割を果たせるよう努めてまいります。

大崎支部青年部会

大崎支部青年部会の令和6年度の活動報告をさせていただきます。

4月22日に定時総会を開催し、佐々木部会長のもと、会員19名でスタートいたしました。

昨年度に引き続き、6月と10月の2度にわたり、化女沼の環境美化活動の一環として、除草や立木伐採などの作業を行いました。

また、(一社)宮城県建設業協会の出展ブースのサポートとして、8月に夢メッセみやぎで開催された「みやぎ元気まつり2024」、11月に宮城県庁前で開催された「みやぎ建設ふれあいまつり」に参加しました。

さらに、宮城県と建設業協会大崎支部が共同で主催した「2024夏休み！小学生と保護者の建設現場見学会」にも、会員全員で参加しました。渋井川排水機場にて、バックホウや高所作業車の試乗体験、ドローン操作体験、測量器具の体験など、実際に子どもたちが建設業に触れられる機会を提供しました。真夏の非常に暑い中での開催でしたが、ミストファンの設置や水分補給の呼びかけを適宜行うなど、体験者の体調管理に配慮した見学会となり、その結果、多くの子どもたちに楽しんでいただくことができました。

今年度は、建設業のイメージアップと担い手確保のために積極的に活動して参りました。新年度は、より一層積極的な部会活動を通じて会員の親睦を深めるとともに、地域への貢献に努めてまいります。

栗原支部青年会

栗原支部青年会は前年に引き続き、上田会長のもと会員5名にて本年度の活動を開始いたしました。

主な事業として、若年層の建設業界への入職促進を目的に、市内の高校生を対象とした建設現場見学会を開催しました。建設業のやりがいや魅力を伝え、将来的に栗原地域の建設業界で活躍していただける人材の確保を目指す取り組みです。

また、県青年会の活動にも積極的に参加し、宮城スタジアムでの清掃活動やゴルフコンペ、新春交流会、建設

に協力し、他支部青年会の会員との交流を深めました。

次年度も、地域の発展と建設業の魅力発信に努めてまいります。

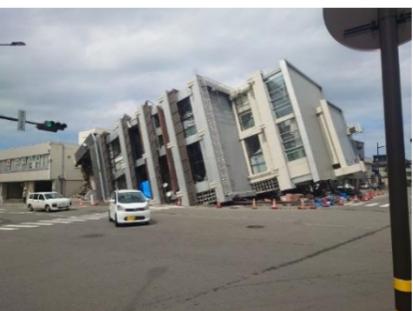
登米建設業青年会

登米建設業青年会は、浅野会長のもと、会員11名にて本年の活動をスタートしました。本年度も計画通り、事業活動を実施いたしました。

5月の定時総会をはじめ、親睦ゴルフや石川県能登地方への移動研修、宮城スタジアム付近の清掃活動、11月には「みやぎ建設ふれあいまつり」への参加、迫川清掃活動など、積極的な青年会活動に取り組みました。これらを通じて、社会貢献活動を行うとともに、会員同士の親睦も深めることができました。

11月には、登米支部が長年にわたる活動を行っている「迫川クリーンキャンペーン」に参加しました。この活動は、河川への不法投棄を防止し、河川愛護を推進することを目的として毎年実施されています。今年で46回目を迎えました。当青年会では、迫川沿岸に割り当てられた約2.5kmの区間で清掃活動を行い、一般ゴミや廃タイヤ・廃家電などを回収しました。河川の景観を保ち、市民の皆様へ環境保護への意識を促すきっかけとなるよう、今後も取り組んでいきます。

昨年行われた石川県能登地方への移動研修では、1月に発生した能登半島地震で被災した輪島市を訪れ、被災地の状況を確認しました。道中、通行止めは解除されているものの、崩落箇所が点在しており、険しい道のりでした。また、市内では解体作業が進んでおらず、基礎から倒れたビルなどを目の当たりにし、復興にはまだ時間がかかることを実感しました。災害はいっつ発生するかわからないため、日頃の備えの重要性を強く感じました。今後も青年会の活動を通じて、地域建設業界の発展と地域貢献に尽力して参ります。



石巻支部青年会

石巻支部青年会の令和6年度の事業としては、平成25年度から取り組んでいるスマイルサポーター活動を4回実施。また、石巻工業高校の土木STEM科1年生を対象とした現場見学会は、発注者である宮城県、施工会社である共同企業体の皆様の多大なるご協力により、「仮称大谷川浜小積浜トンネル工事」の現場を生徒と一緒に見学することが出来ました。

また、当会の重要事業と位置付けている地域貢献事業については、今年度も防犯標語「いかのおすし+2」のクリアファイルの贈呈を石巻市教育委員会には800枚、東松島市教育委員会へは300枚、女川町教育委員会へ200枚、計1300枚を贈呈しました。

この活動も今回で12回となりますが、来年度以降も継続して参ります。また、新年度には新たな会員も加入する見通しとなり、会員交流事業も、地域イベントへの協力など石巻支部青年会の結力を持って積極的に展開して参ります。

気仙沼建設業青年会

気仙沼建設業青年会の令和6年度の活動報告をさせていただきます。

令和6年は4月16日(火)に定時総会を開催し、遠藤会長のもと令和5年度の事業報告並びに決算報告、令和6年度の事業計画並びに予算計画が満場一致にて承認され、活動を開始いたしました。

9月には宮城スタジアム付近を県内各支部の青年会の皆様と協力し清掃活動を実施いたしました。10月には移動研修会を実施いたしました。令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地である輪島を研修地とし、被災地域の被災状況を確認してまいりました。11月には宮城建設ふれあいまつりに参加し、建設業の魅力を子供たちへアピールいたしました。

3月には昨年同様に「防犯標語入りクリアファイル」を気仙沼市教育委員会並びに南三陸町教育委員会へ寄贈し、新小学1年生に配布して頂くようお願いしてまいりました。

新年度も青年会の活動を通して社会貢献、建設業界の発展に尽力して参ります。

